

2008年11月6日
財団法人日本産業デザイン振興会

2008年度グッドデザイン大賞 トヨタ自動車 iQ に決定

総合デザインプロモーション機関の日本産業デザイン振興会（JIDPO/ 会長 岡村正）は、11月6日に2008年度グッドデザイン大賞の選出式典を開催し、トヨタ自動車株式会社の乗用車 iQ（アイキュー）を本年度のグッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞）に決定しました。

グッドデザイン大賞は、グッドデザイン賞受賞 1,067 件の頂点にあたり、デザインの完成度に加え時代性や未来への提案性など、総合的な観点で最新グッドデザインのシンボルにふさわしいと評価された 1 点として選ばれます。本日、東京ミッドタウン・ホールで開催されたグッドデザイン大賞選出会場で、大賞候補 7 点の担当デザイナーによる公開プレゼンテーションを実施、その後本年度グッドデザイン賞受賞者と審査委員などによる投票が行われ、iQ が最多票数を獲得してグッドデザイン大賞に決定しました。

2008年度グッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞）
乗用車 iQ（アイキュー） トヨタ自動車株式会社



デザイナー：トヨタ自動車株式会社 デザイン本部トヨタデザイン部

商品概要：環境・エネルギー問題に向け真摯に開発した“マイクロプレミアム”カー。全長 2,985mm のコンパクトなボディに 4 人乗車可能な超高効率パッケージを実現するとともに、サイズを感じさせない独自のデザインにより存在感と上質感を創出。また優れた環境性能と走行性能を両立する 1.0L エンジンを搭載し、同排気量トップレベルの低燃費を実現したほか、JC08 モード走行燃費 21.0km/L（10・15 モード 23.0km/L）を達成。低中速ではキビキビと高速では安定した運動性能を発揮、さらに最小回転半径は世界最小レベル 3.9m を実現。9 個のエアバッグや S-VSC を全車に標準装備するなど、高い安全性を兼ね備えている。

デザイン評価点：多くの世界初を持つ究極のリミット設計に驚かされる。イノベーション的技術による開発ではなく、従来のテクノロジーの高密度設計により、軽自動車とは異なる新しい超小型 4 人乗りマイクロプレミアムカーという、概念を超えた完成度の高いダウンサイジングの可能性を生み出した。乗り心地、安全性は、今後世界の小型車に新風を吹き込むことは間違いない。車輻が満ち溢れている都市交通のあり方に新しい概念を生むだろう。

なお、2008 年度グッドデザイン大賞を受賞した iQ は、12 月 7 日まで東京ミッドタウン・デザインハブで開催中の受賞作品展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2008」でスケールモデルを展示します。同製品の詳細はグッドデザイン賞のウェブサイトをご参照下さい。

<http://www.g-mark.org/>

本件に関するお問い合わせ
2008年度グッドデザイン賞PR事務局（株式会社オズマピーアール内）
担当：鈴木、西村、木村 TEL:03-3403-9505 FAX:03-3403-0289